

第2部 成熟するアジアと世界へむかうヨーロッパ

第3章 大西洋世界の変容とその波及

2節 産業革命と世界市場の拡大

① 産業革命 (教科書 p. 88~89)

■ポイント

- ①産業革命は、イギリスでどのようにして始まったのだろうか。
- ②技術革新は、綿工業からどのように全産業に普及したのだろうか。

毛織物工業と第1次困いこみ [p.88]

世界貿易の拡大 (16世紀)

国内産業の発達

→毛織物生産の [] など新興商人・企業家層の成長、資本家の誕生

[] とよばれる地主層の台頭

農村の階層分化進行

→牧羊耕地の確保・ []

農業革命と第2次困いこみ [p.88]

植民地争奪戦に勝利→広大な市場を獲得

[]

人口増加にともなう穀物の需要増大

①輪作の普及 (農業技術の改良)

②ジェントリによる []

→多数の農民が土地を失う

→農民は新しい産業に必要な労働源

→市場むけの大規模な穀物生産が発達

綿業の技術革新 [p.88]

背景

- ・アフリカにおける [] に欠かせない綿布
- ・上質で安価な [] の手織り綿布が人気

対応

[] などの綿生産者
→安価で大量生産できる方法を模索

技術革新

- ・ [] の飛び梭発明
→織布の能率倍加
- ・紡績機の発明と織機の改良
- ・動力の開発… [] による蒸気機関の改良

諸産業への波及 [p.89]

綿業の変革

→機械製造業、製鉄業、 [] 業などの発達
→エネルギーと資源の消費時代へ

新興都市の発達

- ・綿業都市 [] …産業革命の象徴
- ・産業、金融の中心となる都市に人口集中